

【2023年11月分】

大使館からのお知らせ

【安全情報 11月分】 当地報道より、殺人、強盗事件や自然災害など、11月に報じられた皆様の安全に係わる情報の概要をお知らせしています。

●サンホセ県

「57歳男性、射殺される」(殺人事件)

11月1日夜、サンホセ市プラサビケスで、57歳男性がバイクに乗った男性2人組に銃で撃たれ殺された。

「23歳男性、26歳男性、射殺される」(殺人事件)

11月3日午後9時半、サンホセ市アティージョで、23歳男性と26歳男性が車で移動中に何者かに銃で撃たれ殺された。

「20代女性、絞殺される」(殺人事件)

11月8日午前1時、サンホセ市内のホテルの廊下で、20代の女性が遺体で発見された。被害者には殴られた跡と首を絞められた跡があった。数時間後に22歳ニカラグア人男性が自首をした。

「69歳男性、刺殺される」(殺人事件)

11月9日午後9時、エスカス市のコンドミニウム内で、69歳男性が刺殺された。被害者は犯人と争った跡がみられたという。被害者はグアテマラ人で、コスタリカに帰化しているという。

「63歳男性、発作で亡くなる」(強盗事件)

11月18日午後12時50分、デサンパドス市のコーヒー農園で、オーナーが従業員へ支払う予定の300万コロンを所持していたところ、バイクに乗った男性2人組に襲われて、現金を奪われた。その際、犯人が発砲し、従業員である63歳男性の脚に銃弾が当たった。被害者は心臓を患っており、銃声音で驚き発作を起こし、亡くなった。

「26歳男性、17歳女性、射殺される」(殺人事件)

11月21日午後10時、アセリ市で26歳男性と17歳女性が駐車中の車で待機していたところ、バイクに乗った男性2人組に銃で撃たれ殺された。

「30代男性、射殺される」(殺人事件)

11月23日午後1時50分、アラフエリタ市の路上で、30代前半の男性がバイクに乗った男2人組に銃で撃たれ殺された。

●リモン県

「44歳男性、射殺される」(殺人事件)

11月2日午前5時半、マティナ市で、44歳男性が同僚を後部座席に乗せてバイクを運転していたところ、藪から銃を所持した強盗犯2名が現れた。犯人と被害者がもみ合いとなり、44歳男性は銃で撃たれ殺された。同僚は無事だった。

「牛を盗むため、農場主を拘束」(強盗事件)

11月8日午後、ポコシ市で牛の世話をしていた男性が、強盗犯4名に襲われ柵に縛り付けられた。犯人が牛をトラックに乗せている間に、被害者は柵から離脱することが出来、警察に通報。警察が駆け付けた時には、犯人のうち3名は盗難牛に乗せたトラックで逃走し、1人は現場で逮捕された。容疑者は盗難や強盗に従事することで有名だったという。

「27歳男性、腐乱死体で発見」(殺人事件)

11月9日夕方、ポコシ市のバナナ農園から男性の腐乱死体が発見された。遺体頭部には銃弾の跡があり、死後2〜3日経過していたという。被害者は27歳男性とみられ、別の場所で殺され、バナナ農園内に死体が遺棄されたものとみている。

「モイン港で120キロのコカイン発見」(麻薬関連事件)

11月10日、リモン市モイン港でトラックの座席下から120キロのコカインが発見され、運転手は逮捕された。

「リモンでコカイン2キロ押収」(麻薬関連事件)

11月14日夜、リモン市カリブ海沖で、コカイン2キロを積んで走行中のボートが発見された。ボートには、コスタリカ人男性とジャマイカ人男性が乗っており、一時逃走したものの間もなく逮捕された。

「女性遺体の発見」(殺人遺棄事件)

11月20日、ポコシ市の住宅の裏庭から、埋められた女性の遺体の一部が発見された。遺体は切断されていて、一部しか発見されなかったという。被害者は当該住宅を借りていたとみられ、容疑者は同棲していた男性とみられている。2人とも2週間前から消息不明になっていた。この住宅で放火未遂事件が起きたことから、隣人がオーナーに連絡し、家主の弟が様子を見に来たところ、異臭がしたため、警察と中に入り遺体発見に至ったという。

「ヨーロッパ行きコンテナからコカイン発見」(麻薬関連事件)

7月13日から APM ターミナル港で新しいコンテナスキャン2機が稼働したのにも関わらず、欧州へ出航したコンテナから麻薬が発見された事件が6件も起きている。直近では、10月16日にイスラエルで79キロのコカインが、10月28日にフランスで218キロのコカインが発見された。6件合わせて計1538キロのコカインが押収された。

●プンタレナス県

「ハコの食堂で男女計3名死亡」(殺人事件)

11月5日午後7時、ガラビト市ハコの食堂前に乗用車2台が停まり、中から散弾銃やライフルを持った複数の男性が降りて、食堂内にいた5名に向け発砲した。男性2名、女性1名は死亡、他2名は怪我を負った。被害者は全員がコロンビア人であり、麻薬の縄張り争いが原因とみられている。

「59歳男性、海に落とされ死亡」(殺人事件)

11月16日午後2時、プンタレナス市沖で、男性2名が乗っていたボートが強盗に遭い、被害者2名は海に落とされ、船は盗まれた。被害者1名は無事だったが、もう1名は後に遺体で発見された。

「32歳ドイツ人男性、射殺される」(殺人事件)

11月30日午後11時、オサ市ドミニカル海岸で、ドイツ人観光客(32歳男性)が恋人女性とキャンピングカー内にいたところ、強盗犯2名に襲われた。男性は抵抗したため、犯人に銃で撃たれて間もなく死亡した。

●アラフエラ県

「25歳男性、射殺される」(殺人事件)

11月2日午後11時半、サンカルロス市で25歳男性が自宅に着いたところ、バイクに乗った男性2人組に銃で撃たれ殺された。被害者は銃で7発撃たれたという。

「ドイツ人男性、強盗に遭う」(強盗事件)

11月7日、ウパラ市で、今年7月から9月にかけて複数の強盗事件の容疑者2名(28歳、31歳)が逮捕された。

この2名は住宅に押し入り、住民を銃で脅して物を盗んでいたという。9月にはドイツ人男性とその家族が被害に遭っていた。容疑者の家の中から盗品が押収された。

●エレディア県

「22歳男性、射殺される」(殺人事件)

11月3日午前9時、エレディア市グアラリにある麻薬消費小屋で22歳男性が射殺された。被害者から何も盗まれておらず、報復目的の殺人とみられている。

「CCSS(社会保険公庫)職員、同僚のクレジットカードを盗難」(盗難事件)

11月11日、サンパブロ市の自宅で40歳女性が逮捕された。容疑者は CCSS の職員で、同僚のカバンからクレジットカードを盗み、現金を引き出したりカードを使ったりしたあとに、カバンに戻っていたという。

●カルタゴ県

「5人組の覆面犯がガソリンスタンド強盗」(強盗事件)

11月7日未明、ヒメネス市のガソリンスタンドが覆面を被った5人組に襲われた。従業員1名と利用客1名は建物内に閉じ込められ、その間に犯人グループは金庫から現金1,000万コロンを持ち出して逃走。従業員と利用客のバイク2台も盗まれた。

「33歳ニカラグア人男性、刺殺される」(殺人事件)

11月7日未明、ラウニンオン市で、33歳ニカラグア人男性が刺殺されているのが発見された。被害者は配車サービスの運転手だった。前日夜に運転していた車が発見され、車内からは血痕や後輪タイヤがパンクしている状態だったという。

「34歳男性、刺殺される」(殺人事件)

11月28日午後10時18分、トゥリアルバ市の教会前で、34歳男性が頭部を刃物で切られ殺された。被害者は牧場で働いており、同僚男性と口論となり、切りつけられたとみられている。

●グアナカステ県

「コカイン432包を輸送していた5人組の逮捕」(麻薬関連事件)

11月8日、ナンダジュレ市で、コカイン432包を密輸していた5人組が逮捕され、麻薬は押収された。麻薬はミニバンで運ばれ、ピックアップ車が後ろについて、警護していたという。近くにある滑走路から、乗り捨てられたバイクと燃料が発見された。空路で米国へ運ばれる予定だったとみられている。小型飛行機が近くを旋回していたが、警察を見るなり姿を消したという。

「22歳男性、射殺される。」(殺人事件)

11月17日午前1時、サンタクルス市で、22歳男性が射殺された。被害者は自宅に戻ったところ、自宅前で待ち伏せしていた犯人に銃で撃たれて殺された。犯人は被害者の車を現場から20キロ先の場所まで運転し、車に火を付けた。

「32歳男性、射殺される」(殺人事件)

11月17日午前1時半、ニコヤ市ノサラで32歳男性がバーに入ろうとしたところ、銃で撃たれ殺された。その際、他4名にも銃弾が当たり怪我をしたが、内2名は現場を立ち去ったという。

「24歳男性、21歳男性、射殺される」(強盗事件)

11月26日午後4時前、ニコヤ市ノサラの崖で、24歳男性と21歳ニカラグア人男性の遺体が発見された。被害者は銃で撃たれており、手足を縛られた状態で崖に投げ捨てられていた。報復目的の殺人とみられている。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL : (506) 2232-1255
FAX : (506) 2231-3140
E-mail : japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または jun.sakurai@mofa.go.jp (櫻井) まで